

(平成30年3月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	<p>3月の青果物は、2月末以降の気温上昇及び適度な降雨量が影響し、露地野菜の生育が促進されたため、入荷量は前年同月比で5%上回った。平成29年11月から前年を上回り続けていた単価は前年同月並みに落ち着いた。</p> <p>4月は、近郷野菜では、筍及び木の芽の入荷が最盛期を迎え、きゅうりやトマトなどの果菜類も徐々に増える。また、実えんどうの入荷が始まる。</p> <p>果実では、不知火は終盤となり、甘夏かん、清見オレンジは最盛期を迎え、いちご類は減少傾向となる。また、ハウスみかん、びわ、桜桃、マンゴー、スイカ等の入荷が始まる。</p>
野 菜	<p>野菜の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は3%下回った。</p> <p>根菜類の入荷量は、筍の入荷量が大幅に増加したため、前年同月比で7%上回った。大根の漬物加工需要が高く、単価も9%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は7%下回った。</p> <p>土物類の入荷量は玉葱の入荷量減少が影響し、前年同月比で10%下回った。単価は、バレイショが前年同月を大幅に下回ったため、21%下回った。</p>
果 実	<p>果実の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>柑橘類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>リンゴ類は、海外輸出が好調となったため、入荷量は前年同月比で21%上回り、単価も18%上回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は7%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は13%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	<p>長崎，徳島を中心に入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり，入荷量は前年同月比で16％上回った。漬物加工需要が高く，単価も20％上回った。</p>
西洋ニンジン	<p>鹿児島，愛知，千葉から入荷された。入荷量は前年同月比で19％下回り，単価は36％上回った。</p>
【葉菜類】 ハクサイ	<p>九州，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で15％上回り，単価は前年同月並みとなった。</p>
キャベツ	<p>愛知，大阪，兵庫，和歌山，滋賀等から入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり，入荷量は前年同月比で6％上回った。上中旬の不安定な入荷により単価高で推移したため，単価も18％上回った。</p>
ホウレンソウ	<p>徳島，福岡を中心に出荷された。入荷量は前年同月比で23％上回り，単価は12％下回った。</p>
レタス	<p>兵庫，徳島，岡山，愛媛等から入荷された。入荷量は前年同月比で6％上回り，単価は4％下回った。</p>
【果菜類】 キュウリ	<p>宮崎，高知，徳島を中心に出荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり，入荷量は前年同月比で4％上回った。加工需要が高く，単価も5％上回った。</p>
ナス	<p>高知，岡山，熊本，福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は5％上回った。</p>
トマト	<p>熊本，福岡を中心に出荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は7％下回った。</p>

<p>ピーマン</p> <p>【土物類】</p> <p>バレイショ (メークイン含む)</p> <p>タマネギ</p> <p>【その他野菜】</p> <p>生シイタケ</p>	<p>宮崎，高知，茨城を中心に入荷された。中旬以降の気温上昇から生育良好となり，入荷量は前年同月比で7％上回った。加工需要が高く，単価も17％上回った。</p> <p>鹿児島，北海道から入荷された。前月の単価安を受け，入荷量は前年同月比で5％下回った。春商材の販売開始により，消費需要が低下し，単価も56％下回った。</p> <p>静岡，長崎，北海道から入荷された。入荷量は前年同月比で17％下回り，単価は3％上回った。</p> <p>徳島を中心に岡山，和歌山から入荷された。入荷量は前年同月比で5％上回り。単価は9％下回った。</p>
---	--

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山，福岡を中心に入荷された。本年は不作年であるため，入荷量は前年同月比で１０％下回った。一般消費需要が低く，単価も８％下回った。
いよかん	愛媛を中心にと歌山から入荷された。本年は収穫期間が長引いたため，入荷量は前年同月比で１２６％上回った。２月後半から単価高で推移したため，単価も４％上回った。
八朔	和歌山を中心にと島から入荷された。入荷量は前年同月比で２５％下回り，単価は３１％上回った。
不知火（デコポン）	和歌山，愛媛，香川，佐賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で１６％上回り，単価は前年同月並みであった。
サンふじ	青森から入荷された。例年よりも出荷が遅れたため，入荷量は前年同月比で５％上回った。多品種の輸出傾向に伴い，国内消費需要が高まり，単価も２１％上回った。
いちご	福岡，熊本，大分，佐賀，長崎等から入荷された。入荷量は前年同月比で３％下回り，単価は７％上回った。
アールスメロン	静岡，高知から入荷された。入荷量は前年同月比で１８％下回り，単価は１４％上回った。